

製品名: CD38 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80789**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	CD38
別名	T10; CD38
遺伝子 ID	952.0
SwissProt ID	P28907
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD38 の精製された組み換え断片。

背景

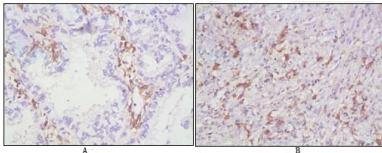
CD38 は、II 型膜貫通型糖タンパク質で、初期の B 細胞および T 細胞系統と活性化 B 細胞および T 細胞に存在しますが、ほとんどの成熟した休止期末梢リンパ球には存在しません。CD38 は、胸腺細胞、プレ B 細胞、胚中心 B 細胞、マイトジェン活性化 T 細胞、単

球、および免疫グロブリン分泌形質細胞にも見られます。CD38 は、T リンパ球で NAD グリコヒドロラーゼとして機能します。造血細胞では、CD38 は成熟 T 細胞および B 細胞の活性化、増殖、および分化を誘導し、骨髄系およびリンパ系前駆細胞のアポトーシスを媒介します。CD38 は、シグナル伝達受容体として機能するほか、環状アデノシン二リン酸リボース (cADPR) などのいくつかのカルシウム動員代謝物を産生できる酵素でもあります。CD38 は、免疫寛容の維持に優先的に寄与する不変 NK T (iNKT) 細胞サブセットの生存を維持する役割も果たします。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌 (A)、リンパ節組織 (B) の免疫組織化学分析。DAB 染色による CD38 マウス mAb を使用して細胞膜の局在を示しています。